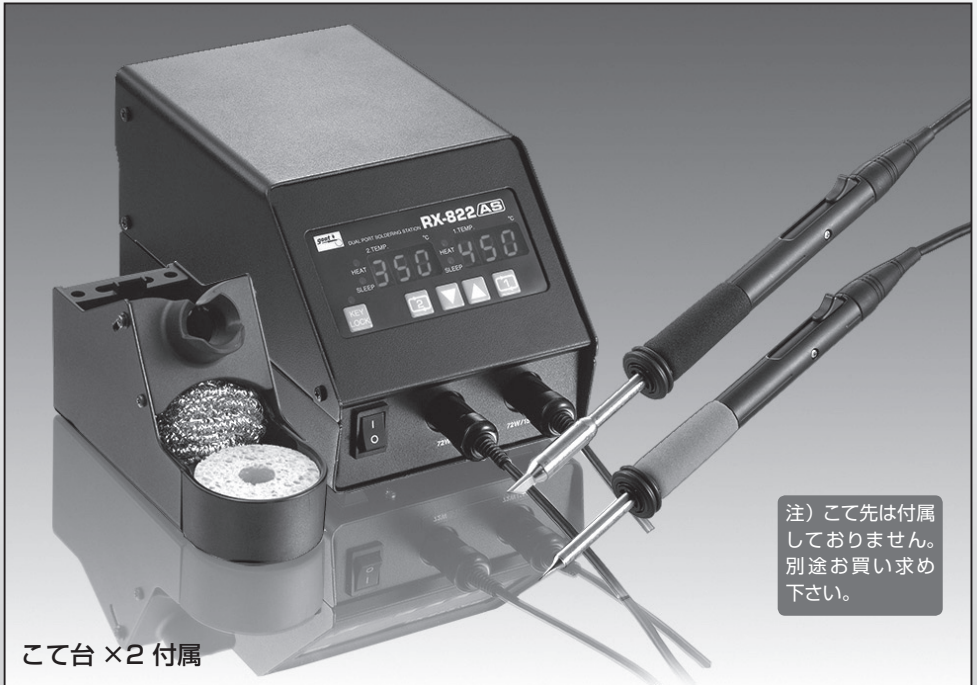
取扱説明書

鉛フリーはんだ対応 ステーション型 2 本接続温調はんだこて

RX-822AS

注）こて先は付属しておりません。別途お買い求め下さい。

こて台 ×2 付属

警 告

この製品をご使用になる前に本取扱説明書を必ずお読み下さい。
警告・使用方法に記述されている内容に従わないと、けが、事故などが発生する場合があります。

この度は goot 鉛フリー温調はんだこてをお買いあげいただきましてありがとうございます。
本機は goot の高い品質管理のもとで、安全簡単な操作ができるよう設計、製造されています。
本機を安全・快適にご使用いただくため、説明書の注意事項に従って正しくご使用ください。
この取扱説明書は無くさないよう大切に保管してください。

太洋電機産業株式会社

警告・注意文について

この説明書および製品に表示されている絵表示および警告・注意文は、製品を正しく安全にご使用いただき、あなたや他の人の安全と財産への損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解された上で本文をお読みください。

警 告

警告に従わない場合は死亡、重大な事故が発生します。火災、感電やけがをなくすためにも、注意事項に従ってください。

注 意

注意に従わない場合は、軽微な損害、けがが発生します。火災、感電やけがをなくすためにも注意事項に従ってください。

1 目次／仕様

仕 様

型番		RX-822AS
定格電圧		100V AC 50/60Hz
消費電力		230W（最大）
こて部電圧／電力	RX-85GAS：こて部［1］側	24V AC/150W
	RX-80GAS：こて部［2］側	24V AC/72W
温度設定範囲		50～450℃
サイズ	本体	194(L)×116(W)×105(H)mm
	RX-85GAS：こて部［1］側	全長 174mm（RX-85HRT-5D 装着時、コードアーマー除く）
	RX-80GAS：こて部［2］側	全長 158mm（RX-85HRT-B 装着時、コードアーマー除く）
重量	本体	約4.9kg
	RX-85GAS：こて部［1］側	約39g（RX-85HRT-5D 装着時、コード除く）
	RX-80GAS：こて部［2］側	約28g（RX-85HRT-B 装着時、コード除く）
リーク電圧		2mV 以下
アース抵抗		2Ω 以下
こて部－温度制御部間コード長		RX-85GAS：1.5m, RX-80GAS：1.2m
電源コード長		1.5m（インレット 3 芯コード・アースピンプラグ付）
付属品		こて台 (ST-21）×2

2 はじめに

2-1 RX-822ASの特長

本機は1台のステーションに2本のこて部が接続可能な鉛フリー対応はんだこてです。
こて先は長寿命、コンパクトタイプのヒーター一体型こて先を採用しています。

●こて部を2本接続可能

異なるこて先形状を2種類スタンバイしておく事が可能。作業内容に合わせたこて先の使い分けができます。

●150Wと72Wを同時使用可能

こて部[1]側は150Wのこて(**RX-85HRT**シリーズ)も使用可能。150Wと72Wが同時に使用できます。

注)150Wを2本同時に使うことはできません。

●2本個別の温度設定が可能

こて部は2本とも異なる温度設定が可能。温度表示も個別になっておりますので、設定温度や状態が一目でわかります。

●優れた熱回復力

小型高出力ヒーターと高感度センサーの組み合わせにより、圧倒的な熱回復力を実現しました。いままであきらめていた負荷の大きいはんだ付け作業が容易にできます。

●新設計のエルゴデザイングリップ(PAT.)

握りのよさ、こて部コードの柔軟性、こて先端までの距離が短いなどの利点があります。

●クラス最速の立ち上がり

350℃まで約6秒で到達します。
(**RX-80HRT**シリーズ装着時)

●工具いらずのこて先交換(PAT.)

新設計のスライド方式により、こて先交換時に耐熱パッド、ドライバー等の工具が必要ありません。

●豊富なこて先種類

RX-852AS用こて先と、互換性のある**RX-802AS**用こて先のあわせて40種類以上のこて先が使用できます。

●鉛フリー対応の鉄メッキ厚

全種類、鉛フリーの侵食を考慮した鉄メッキ厚にしています。

●キーロック機能(PAT.)

暗証番号によるキーロックで、工具、カードが必要ありません。

●スリープ機能(PAT.)

一定時間使用しないとき、自動的にこて先の温度を下げ、こて先の空焼きを防止するスリープ機能を内蔵しています。使用しないときの時間と温度の設定もできます。シャットダウン機能との併用もできます。

●スリープ解除機能(PAT.)

スリープ中のこて先に熱変動を与える事により、スリープ動作の解除が容易に行えます。(スリープ設定温度が100℃以上の時有効)

●CAL機能(PAT.)

こて先とこて先温度計の温度差をデジタル補正できるCAL機能を搭載。

●シャットダウン機能

あらかじめ設定した時間内に作業を行わなかったとき、自動的に電源をOFFします。

2-2 開 封

下記梱包明細のものが入っているか確かめてください。梱包をしているパッケージは本機が正常に動作するとわかるまで捨てないでください。

梱包明細

- ■ ステーション部
- ■ こて部 (**RX-85GAS**、**RX-80GAS**)
- ■ こて台 (**ST-21**) ×2
- ■ 電源コード
- ■ 取扱説明書

2-3　各部の名称

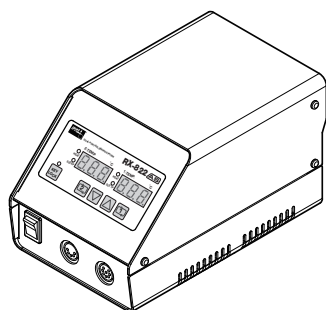
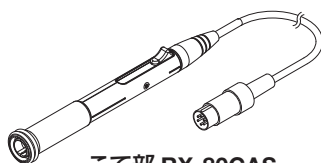
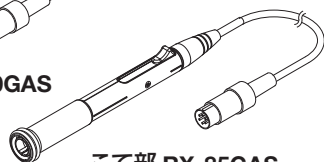
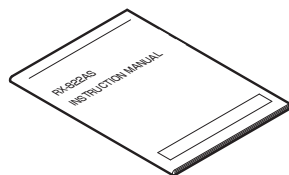
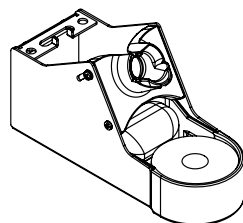
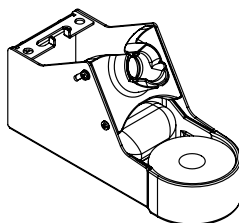
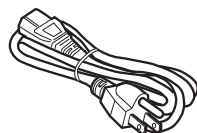
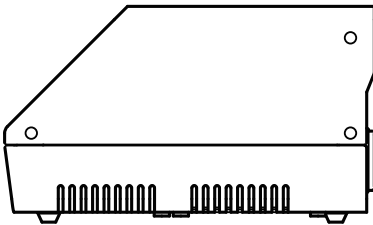
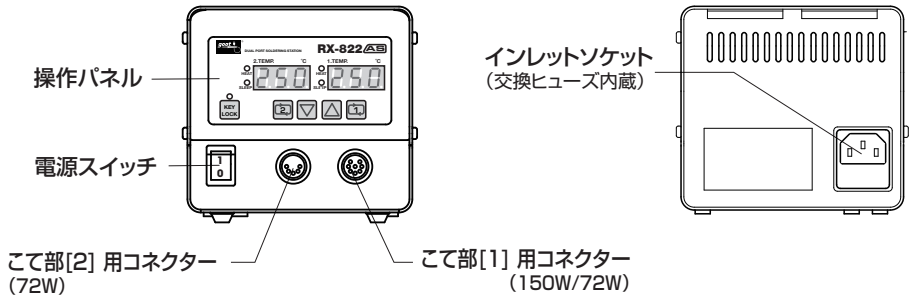
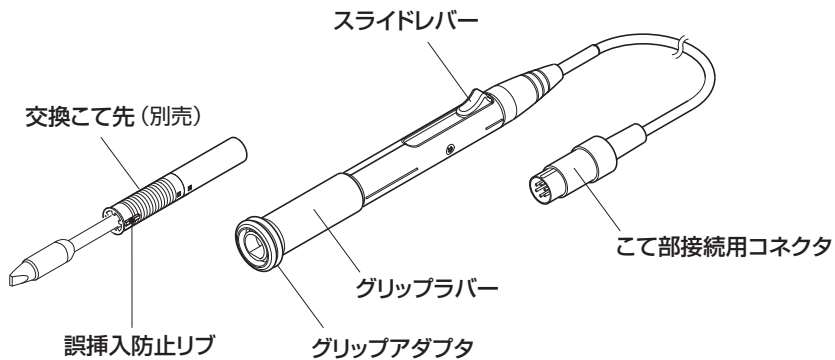
■ステーション部

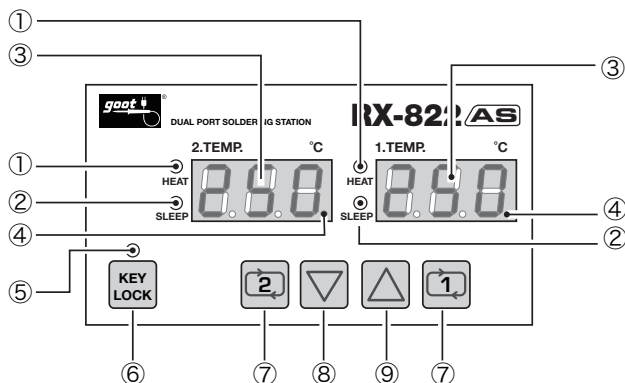
操作パネル

電源スイッチ

こて部[2] 用コネクター
（72W）

こて部[1] 用コネクター
（150W/72W）

インレットソケット
（交換ヒューズ内蔵）

■こて部

RX-85HRT/85HSRT シリーズ[150W] のこて先についています。**RX-80GAS**[72W] に間違って挿入されるのを防ぐ役割があります。

■ステーション部ー操作パネル

① **HEAT ランプ**

ヒーター出力が ON の時に点灯します。

② **SLEEP ランプ**

スリープを設定しているときは点滅します。スリープにはいる 30 秒前から点滅が速くなります。スリープにはいると点灯します。

③ **TEMP. ディスプレイ**

電源投入時、スリープ解除時、こて先温度が設定温度に到達するまでは、その上昇中の温度を表示します。設定温度に到達すると、設定温度を表示します。

④**アラームランプ**（TEMP. 表示部の下一桁のドット）

こて先温度が DIF の範囲内の時は点灯します。
こて先温度が DIF の範囲外になると消灯します。
こて先温度が上下限警報の範囲外になると点滅します。

⑤ **KEY LOCK ランプ**

キーロック中に点灯、キーロック操作中に点滅します。

⑥ **KEY LOCK キー**

キーロックの設定、解除時に使用します。

⑦**設定キー**

温度設定時や各種パラメーター設定時に使用します。

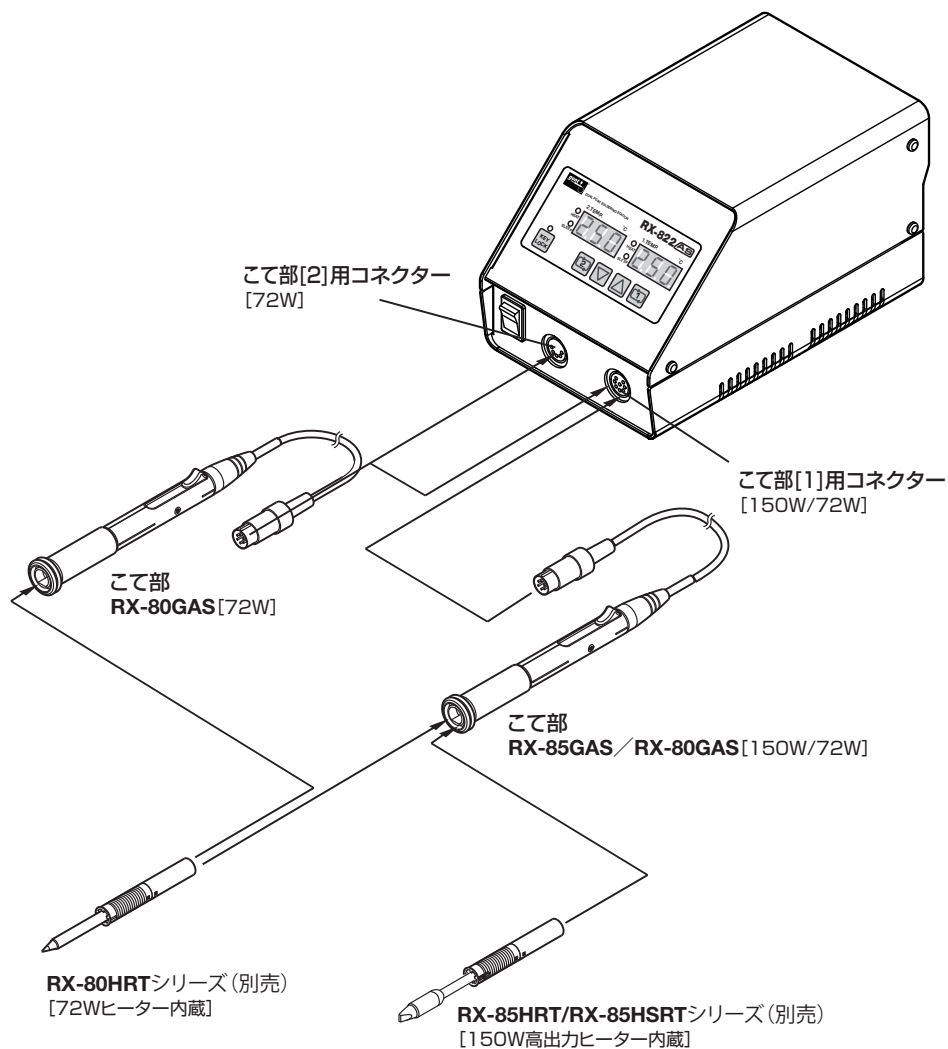
⑧**ダウンキー**

温度設定、パラメーター変更時に表示桁の値を減らすキーです。

⑨**アップキー**

温度設定、パラメーター変更時に表示桁の値を増やすキーです。

2-4 セットアップ

下図のように接続してください。矢印でつながっていない部分は接続できません。無理に接続すると故障の原因になりますのでご注意ください。

3 安全のために

安全な取り扱いのため以下の事項を守ってください。全ての内容をお読みください。

警 告

この取扱説明書にある全ての取扱い方法と安全に関する指示等を読み、理解するまで、本機をご使用にならないでください。

1. 本機をよく理解してください。

操作マニュアルをよくお読みください。本機に関して、起こりうる危険と同様に用途、使用制限について、理解してください。

2. 危険な環境下でご使用にならないでください。

湿った場所、濡れた場所 又は雨にさらされる場所(屋外も含む)、ではご使用にならないでください。爆発の可能性のある場所でのご使用は絶対にさけてください。ヒーターの熱が着火する原因になる可能性があります。作業場は作業に適した明るさに照明を調節し、また充分な換気を行ってください。

3. 本機に子供、傍観者を近づけないでください。

傍観者に本機をさわらせないようにしてください。作業場所から傍観者を遠ざけてください。

4. ご使用にならないときは、きちんと片づけてください。

ご使用にならないときは、こどもの手の届かない場所 —— 乾燥した、安定した場所、又はカギがかかる所に保管してください。

5. 正しい使い方をしてください。

本機は部品のはんだ付けをおこなったり、はんだを溶かしたりするための電気工具です。本機をこの目的以外にご使用にならないでください。

例) —— 水やその他の液体を温めるために使用する事などは絶対にしないでください。

6. 作業に適した服装と安全メガネ、手袋、マスクを着用してください。

作業に適さない服装(ネクタイなど)はさけてください。長い髪は結んでください。服、髪が本機のこて先や、その他熱せられた部分に触れ焼けることがあります。

7. 電源は交流100V　50／60Hzに接続してください。

本機の電源電圧は交流100V　50／60Hz指定です。これ以外の電源電圧では使用しないでください。

8. 電源コードを折り曲げたりしないでください。

また定期的に検査してキズ、断線等ないことを確認してください。電源コード部分をもって本機を運ばないでください。またコンセントから抜くときには、コードを引っ張らないでください。プラグをもって引き抜いてください。電源コードに熱、油、鋭利な角を近づけないでください。

9. 指定のこて台をご使用してください。

こて台は本機付属の**ST-21**をご使用ください。これ以外のこて台では本機のこて部を溶かす場合があります。こて台は平らな安定した作業机に置いてください。こて台の組立方法は、こて台の取扱説明書に記述されています。

10. こて先の冷却について。

コンセントから抜いた後、空冷してください。その他の方法での冷却は行わないでください。

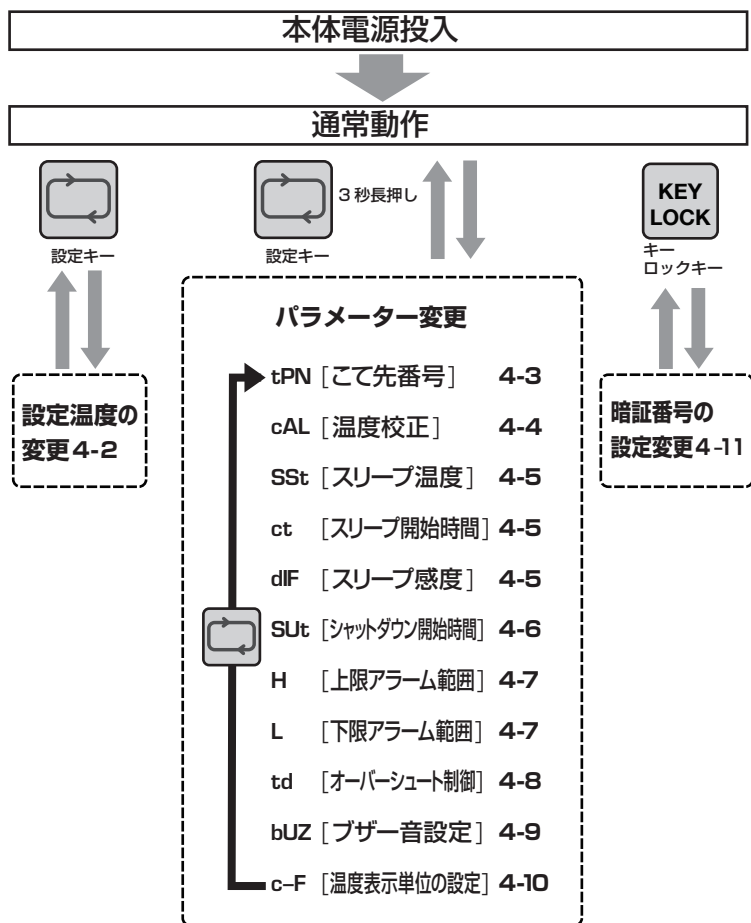
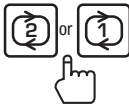
例)——こて先を冷やすために水を振りかけたり、浸したりは絶対しないでください。

警 告

RX-822ASは静電対策モデルです。感電防止および静電対策のために、電源プラグのアースピンを必ずアース接地してください。アース接地をしない場合は感電の危険があります。特に導電性材料を使用していますので、電源ラインとの接触で事故を起こす場合がありますのでご注意ください。

4 操作方法

4-1 パネル操作全般のフロー図

本体電源を投入すると、こて先への通電が始まり加熱状態に入ります。設定キーを押すと、設定温度変更モードに入ります。設定キーを3秒以上長押しすると、パラメーター変更モードに入ります。キーロックキー KEY LOCK を押すと暗証番号の設定／変更モードに入ります。

注）設定温度／パラメーター変更に入った状態で30秒間キーアクセスが無い場合は、変更中の値を登録し、通常状態に戻ります。暗証番号の設定／変更に入った状態で30秒間キーアクセスが無い場合は、何も登録せずに通常状態に戻ります。

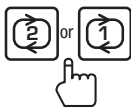
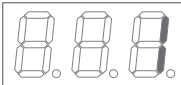
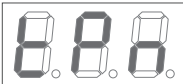
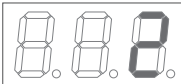
4-2　設定温度の変更方法 （こて部毎に設定可能）

工場出荷時の設定温度は250℃です。設定温度は50℃～450℃まで可能ですが、こて先温度は周囲温度以下にはなりません。

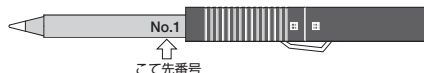
設定温度250℃を340℃に変更する場合

	キー操作	TEMP. の表示
1	② or ① 変更したいこて部の設定キーを押します。	250 点滅
2	▲ キーを押し続け、表示を「**340**」にします。	340
3	変更したこて部の設定キーを押します。 セット完了	340

注）
キーを押さないでそのまま30秒間キーアクセスがない場合は、温度表示は変更中の値を設定温度として登録し、通常動作に戻ります。

設定温度は、スリープ温度より 50℃以上高くしないと、設定できません。
（**4-5 スリープ機能の設定**を参照）
たとえば設定温度を 200℃にする場合、スリープ温度を 150℃以下にする必要があります。

4-3 こて先変更時の温度補正 （こて部毎に設定可能）

RX-822ASはこて先に刻印されている「こて先番号」を入力することにより温度補正が簡単に行えます。別の種類のこて先に付け替えた際は必ずこのページのこて先別の温度補正を行ってください。

工場出荷時の設定値は1です。

こて先番号の入力方法

例）こて先番号1のこて先を、こて先番号2のこて先に交換した場合

キー操作		TEMP. の表示
1	（2）or（1）変更したいこて部の設定キーを3秒以上押してください。	tPn 交互に表示 1
2	（▲）キーを押して、「2」を表示させます。	tPn 交互に表示 2
3	変更したこて部の設定キーを3秒以上押してください。 **セット完了**	「設定温度表示」

こて先番号一覧 (RX-85HRTシリーズ)

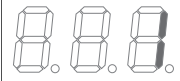
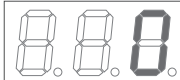
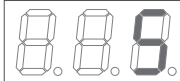
型名	こて先番号	型名	こて先番号
RX-85HRT-B	L2	RX-85HRT-3D	L1
RX-85HRT-2BC	L1	RX-85HRT-5D	L1
RX-85HRT-3BC	L1	RX-85HRT-7D	L1
RX-85HRT-5BC	L1	RX-85HRT-6K	L1
RX-85HRT-7BC	L1		

こて先番号一覧 (RX-85HSRTシリーズ)

型名	こて先番号	型名	こて先番号
RX-85HSRT-B	L2	RX-85HSRT-2BC	L1
RX-85HSRT-1.6D	L1	RX-85HSRT-3BC	L1
RX-85HSRT-2.4D	L1	RX-85HSRT-4.5K	L1
RX-85HSRT-3.2D	L1		

こて先番号一覧 (RX-80HRTシリーズ)

型名	こて先番号	型名	こて先番号
RX-80HRT-SB	3	RX-80HRT-4.7C	0
RX-80HRT-B	1	RX-80HRT-0.8D	2
RX-80HRT-2B	1	RX-80HRT-1.2D	2
RX-80HRT-LB	2	RX-80HRT-1.6D	2
RX-80HRT-LBJ	2	RX-80HRT-2.4D	1
RX-80HRT-1C	4	RX-80HRT-3.2D	1
RX-80HRT-2C	4	RX-80HRT-5.4D	0
RX-80HRT-3C	2	RX-80HRT-3K	1
RX-80HRT-3BC	1	RX-80HRT-4.5K	1
RX-80HRT-4C	1	RX-80HRT-4.5KH	1
RX-80HRT-BM	1	RX-80HRT-5.5K	1
RX-80HRT-2CD	4	RX-80HRT-0.5C	3
RX-80HRT-2.3BC	1	RX-80HRT-1BC	1
RX-80HRT-3CD	2		

上記こて先番号は、こて先の設計変更等により予告なく変更する場合があります。こて先変更の際は、必ずこて先根元の番号を確認してから入力してください。

4-4　表示温度の校正　（こて部毎に設定可能）

RX-822ASのこて先温度をこて先温度計で測定した場合、一般的に**RX-822AS**の設定温度よりもこて先温度計の表示の方が低い数値を示します。これはこて先温度計センサーの温度感知部分(例えばTYPE Kではアルメルークロメルの接点部)にこて先の熱がとられたり、こて先温度計のセンサーとこて先が濡れてなく、熱の伝わりが悪い為、本来測られるべきこて先の表面温度よりも低い値になる為です。

したがって、この機能はこて先温度計をはんだこて標準校正器として使用されている場合のみご使用ください。

こて先温度の校正方法

例）**RX-822ASの設定温度300℃とこて先温度計の測定値295℃の差5℃を校正値として入力する場合。**

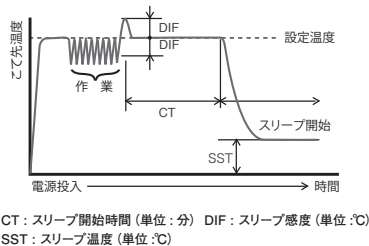
温度校正しない場合、CAL は 0 にしておいてください。（工場出荷時は 0 です）

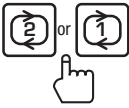
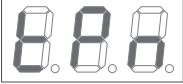
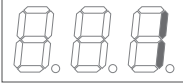
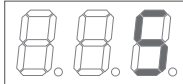
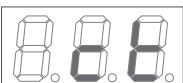
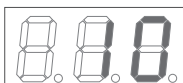
温度校正する場合も「**4-3 こて先変更時の温度補正**」（P14）に従ってこて先番号を入力してください。

4-5 スリープ機能の設定 （こて部毎に設定可能）

あらかじめ設定した時間内にキー操作やはんだづけ作業を行わなかった時、こて先の温度を自動的に低くし、待機状態にすることができる機能です。この機能により、こて先の空焼きによる酸化を軽減します。スリープ機能は**4-6**の「**シャットダウン機能**」と併用できます。

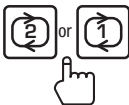
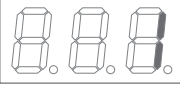
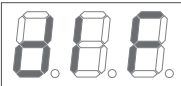
スリープ解除の方法
スリープ中のこて先を水を含んだスポンジ等に当てて温度変化を与える事により、解除することができます。また、スリープ中にそれぞれの設定キーを押すことにより解除することも可能です。

注）スリープ温度（SST）が100℃よりも下の場合、温度変化によるスリープ解除機能は使用できません。

スリープ温度（SST）の設定

例）スリープ温度を200℃から150℃に変更する場合。

スリープ機能を設定するとSLEEPランプが点滅します。スリープ動作に入る30秒前からSLEEPランプの点滅が速くなります。スリープ動作に入るとSLEEPランプが点滅から点灯に変わり、SLPと温度を交互に表示します。通常使用時、こて部[1]では▲キーを、こて部[2]では▼キーを1秒押しつづけると強制的にスリープ機能を作動させることができます(アクティブスリープ機能)。

スリープ開始時間（CT）の設定
（こて部毎に設定可能）

例）スリープ開始時間を5分から10分に変更する場合。
CTの単位は分です。

キー操作	TEMP. の表示
1 2 or 1 変更したいこて部の設定キーを3秒以上押してください。	tPn 交互に表示 1
2 キーで「CT」を表示させます。	ct 交互に表示 5
3 ▲ キーを押し、「5」を「10」に変更します。	ct 交互に表示 10
4 変更したこて部の設定キーを3秒以上押してください。 セット完了	「設定温度表示」

CT(スリープ開始時間)の値を0に設定すると、スリープ機能はOFFになり、SLEEPランプが消灯します。

スリープ感度（DIF）の設定

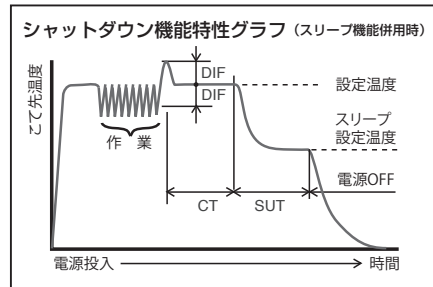
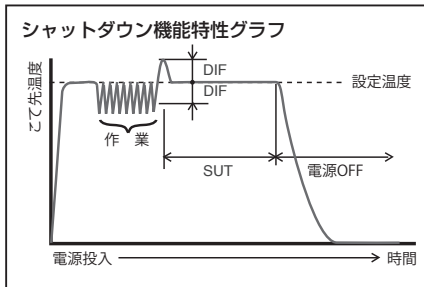
（こて部毎に設定可能）

例）スリープ感度を2.0℃から3.0℃に変更する場合。
DIFの単位は℃です。

キー操作	TEMP. の表示
1 or 変更したいこて部の設定キーを3秒以上押してください。	tPn 交互に表示 1
2 キーで「DIF」を表示させます。	dIF 交互に表示 2.0
3 キーを押し、「2.0」を「3.0」に変更します。	dIF 交互に表示 3.0
4 変更したこて部の設定キーを3秒以上押してください。 セット完了	「設定温度表示」

スリープの感度範囲を広げすぎると作業中にもかかわらずこて先温度低下を感知できずにスリープ機能に入ってしまうことがあります。この場合は、スリープの感度の数値を小さくしてください。感度の設定範囲は0～20.0℃です。又、スリープの感度範囲が小さすぎると、こて先温度がスリープ感度範囲内に収まらないため、設定時間を過ぎてもスリープ機能が動作しない場合があります。このときはスリープ感度範囲を広げてください。

4-6　シャットダウン機能の設定　（こて部毎に設定可能）

あらかじめ設定した時間内に作業を行わなかった時、自動的にこて部の電源をOFFする機能です。この機能により、電源の切り忘れが防止できます。

シャットダウン開始時間（SUT）の設定

例）シャットダウン開始時間を60分から30分に変更する場合。
SUTの単位は分です。

	キー操作	TEMP. の表示
1	2 or 1　変更したいこて部の設定キーを3秒以上押してください。	tPn　交互に表示　1
2	キーで「SUT」を表示させます。	SUt　交互に表示　60
3	▼　キーを押し、「60」を「30」に変更します。	SUt　交互に表示　30
4	変更したこて部の設定キーを3秒以上押してください。 セット完了	「設定温度表示」

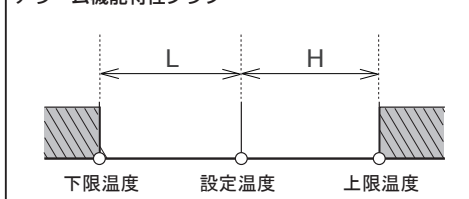
SUT（シャットダウン開始時間）の値を0にすると、シャットダウン機能はOFFになります。シャットダウン状態になるとSdnと温度を交互に表示します。温度が50℃以下になるとTEMP表示部の下1桁のドットのみ点灯します。

[再起動]

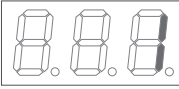
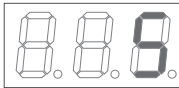
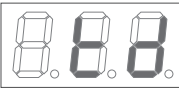
シャットダウン時の再起動は電源スイッチを切った後、再度電源スイッチを入れてください。

4-7 上下限温度範囲のアラーム設定 （こて部毎に設定可能）

こて先温度が設定温度の範囲外になったとき、ブザー音を鳴らし続けて作業者に異常を知らせる機能です。右図斜線部分でブザー音が鳴り続けます。

アラーム範囲は上限、下限それぞれ3℃～100℃内で設定できます。アラーム機能をOFFにするには上下限それぞれの設定値を3℃よりも小さい値にします。表示は [———] になります。

アラーム範囲（H,L）の設定

工場出荷時は上限、下限とも50℃に設定してあります。

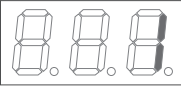
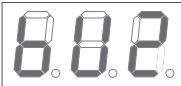
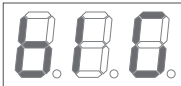
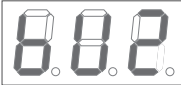
キー操作	TEMP. の表示
1 [2] or [1] 変更したいこて部の設定キーを3秒以上押してください。	LPn 交互に表示 1
2 キーで「H」または「L」を表示させます。	H 交互に表示 50
3 [▲] [▼] キーで設定温度を変更してください。	H 交互に表示 50 上限アラーム設定温度 L 交互に表示 50 下限アラーム設定温度
4 変更したこて部の設定キーを3秒以上押してください。 セット完了	「設定温度表示」

4-8 オーバーシュート抑制機能（こて部毎に設定可能）

こて先の種類や作業内容によってはんだ付け終了時にこて先温度が設定温度を若干超える現象があります。（オーバーシュート）

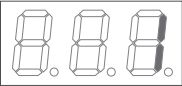
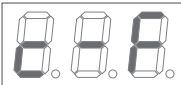
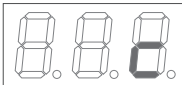
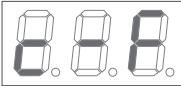
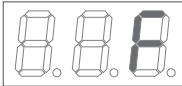
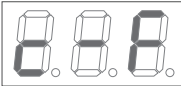
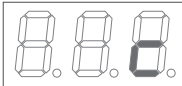
特にRX-85HSRTシリーズでオーバーシュートが顕著に現れますが、この値を設定する事により、オーバーシュートを抑制する事が可能です。

微分時間の設定（td）の設定

例）微分時間を5から30に変える場合。

	キー操作	TEMP. の表示
1	2 or 1　変更したいこて部の設定キーを3秒以上押してください。	tPn ⇔ 交互に表示 ⇔ 1
2	キーで「td」を表示させます。	td ⇔ 交互に表示 ⇔ 5
3	▲ キーを押し、「5」を「30」に変更します。	td ⇔ 交互に表示 ⇔ 30
4	変更したこて部の設定キーを3秒以上押してください。 セット完了	「設定温度表示」

微分時間（td）の目安

こて先型番	微分時間（td）
RX-80HRT シリーズ	5
RX-85HRT シリーズ	5
RX-85HSRT シリーズ	30

4-9　ブザー音の設定

動作時のブザー音の音量を選択できる機能です。ブザー音を[大]、[小]、[切]の3つのモードから選択できます。初期設定は[大]となっています。

ブザー音の設定

4-10　温度表示単位の設定

表示温度を摂氏、華氏に切り替えることができます。

	キー操作	TEMP. の表示
1	[2] or [1] こて部の設定キーを3秒以上押してください。	tPn 交互に表示 1
2	キーを押して、「C-F」を選択します。	c-F 交互に表示 c
3	[▲] キーを押すとF	c-F 交互に表示 F
	[▼] キーを押すとCに切り替わります。	c-F 交互に表示 c
4	キーを3秒以上押してください。 セット完了	「設定温度表示」

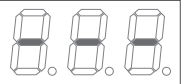
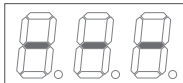
操作パネルにはTEMP.の単位が「℃」と印刷されています。華氏で使用する場合は印刷を隠すかあるいは無視してください。

4-11　キーロックの設定

キーロックは、暗証番号を登録することによって、設定した温度やその他の設定を管理者以外が変更できないように、設定をロックする機能です。一度キーロックをかけると正しい暗証番号を入力するか暗証番号をリセットする以外、解除できなくなります（P26 暗証番号の解除）。工場出荷時の状態では暗証番号は登録されていません。
暗証番号は 001 − 999 の 3 桁の数字で登録できます。暗証番号が正しく登録できた場合は暗証番号が 5 回点滅します。暗証番号を誤って入力したときは NG と表示され、初期状態にもどります。

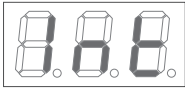
暗証番号の設定

キー操作	TEMP. の表示
1 KEY LOCK キーを押します。	2: KEY　1: PIn 2回点滅 ↓ 1: - - -
2 ▲ ▼ キーで希望の暗証番号を表示させます。	2: KEY　1: 123
3 KEY LOCK キーを押します。 セット完了	2: KEY　1: 123 5回点滅 ↓ 「設定温度表示」

キーロックの解除は、設定と同じ方法で行います。

暗証番号の変更

例）古い暗証番号「123」を新しい暗証番号「234」に変更する。

キー操作	TEMPの表示
1 KEY LOCK キーを押します。	2: K.E.Y. 1: P.I.n. 2回点滅 ↓ -.-.-.
2 KEY LOCK キーを3秒以上押してください。	2: c.o.d. 1: -.-.-.
3 ▲ ▼ キーで変更前の暗証番号を表示させます。	2: c.o.d. 1: 1.2.3.
4 KEY LOCK キーを押します。	2: c.o.d. 1: 1.2.3. 点滅
5 ▲ ▼ キーで新しい暗証番号を表示させます。	2: c.o.d. 1: 2.3.4.
6 KEY LOCK キーを押します。 セット完了	2: c.o.d. 1: 2.3.4. 5回点滅 ↓ 「設定温度表示」

暗証番号の解除

下記操作を行うと暗証番号を消去し、暗証番号が登録されていない初期状態にもどります。下記操作を行うとキーロックも解除できるので、管理者以外の第三者にも設定が変更できるようになります。この取扱説明書は管理者の方が適切に保管しておいてください。

4-12　設定の初期化

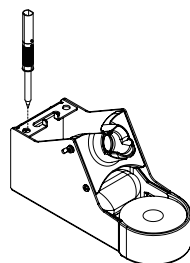
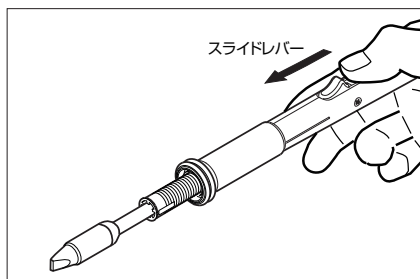
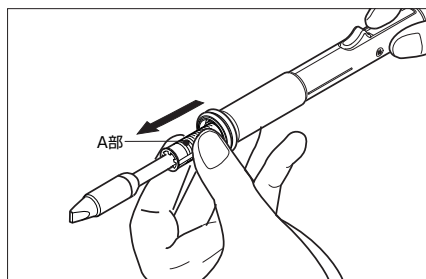
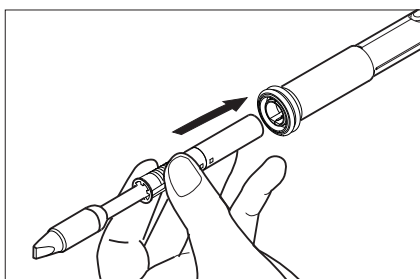
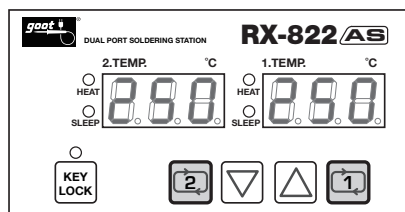
下記操作を行うと、すべてのパラメーター設定が工場出荷時の状態になります。設定を最初から行いたいときに使用します。下記操作を行うとキーロックも解除できるので、管理者以外の第三者も設定を変更できるようになります。この説明書は管理者が適切に保管してください。

設定の初期化

	キー操作	TEMP. の表示
1	設定温度表示中に [2] [▲] [▼] キーを同時に5秒以上押してください。	設定温度点滅
2	すべての設定が工場出荷時の状態に戻ります。 初期化完了	Int.　5回点滅 ↓ 「設定温度表示」

上記操作でキーロックは解除できますが、暗証番号の初期化はできません。
暗証番号を消去をしたいときは前述の「暗証番号の解除」を行ってください。

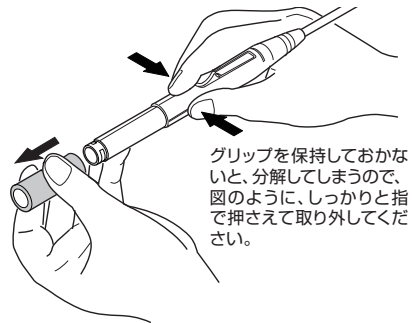
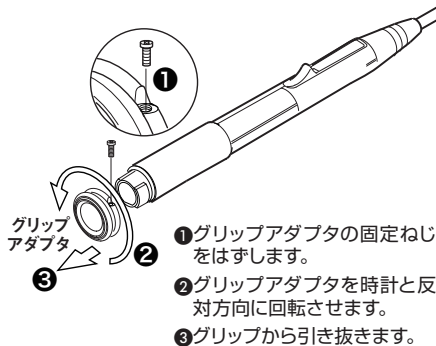
5 メンテナンス

本機は、電源スイッチを切らなくてもこて先交換ができる設計になってますが、こて先は高温になっていますので、交換するときは、ヤケドしないよう十分注意してください。また、取り外したこて先は先端を下に向けて、こて台の穴に入れて保管してください。

5-1 こて先の交換方法

1. グリップ後部のスライドレバーを矢印方向に最後までスライドさせます。

2. A部をつまみ、そのまま矢印方向に抜き取ります。

3. 新しいこて先をグリップ穴の向きを確認しながら挿入します。この状態では通電しません。最後までしっかりと挿入してください。

4. こて先交換をしたこて部の設定キーを押すとヒーターの通電が始まります。

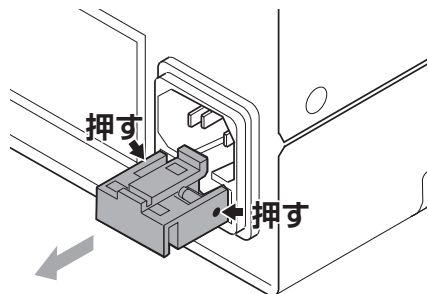
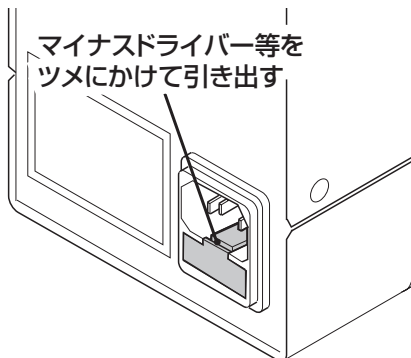
*こて先の種類を交換する際は必ず「こて先変更時の温度補正」を行ってください(P14参照)
*こて先とヒーターが一体になっているため、こて先のみ、ヒーターのみの交換はできません。

5-2 グリップラバーの交換方法

1. グリップからグリップアダプタを取り外してください。

2. 古いグリップラバーを取り外して新しいものに交換してください。

5-3 ヒューズの交換方法

1. 図のツメの部分にマイナスドライバーの先端等をあて、ヒューズボックスを引き出してください。

2. ヒューズボックスの両側を指で押しながら、さらに引き出します。ヒューズボックスの裏側に予備のヒューズが格納されていますので、本体を横向き、または裏返してヒューズを交換してください。

5-4 プラスチック部分のお手入れ

プラスチック部分にガソリン、石油ベース、浸透性のオイルをつけないでください。本機に損傷を与えたり、弱めたり、壊れたりします。汚れを取り除く場合はきれいな布を使用してください。

5-5 鉛フリーはんだこての使用方法、こて先のメンテナンス方法

鉛フリー糸はんだを使ってはんだ付け作業を行っていると、こて先表面が黒色になります。またはんだの濡れ性が悪くなることがあります。こて先が黒くなる現象は、糸はんだに含まれるフラックスがこて先に付着して炭化するために起きる現象であり、防ぐことが出来ません。しかし、はんだ濡れ性の低下については、以下の項目の使用方法、メンテナンス事項を守れば防ぐことが出来ます。

はんだこての使用方法とメンテナンス方法

はんだこての推奨使用温度

はんだこての使用温度は低く設定します。それにより、炭化現象を遅らせることができます。鉛フリーはんだこては熱回復力に優れていますので、こて先温度を低く設定しても、そんなに作業性は落ちないでしょう。しかし、温度を低くしてもフラックスの炭化現象が無くなるものではありません。

はんだ付け時の注意

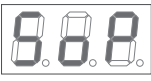
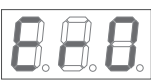
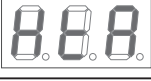
はんだメッキ部のはんだが途切れ無いように、糸はんだで常にはんだを補充するような使用方法を行ってください。

はんだこてをこて台に置くときの注意

●お買いあげから最初に電源を入れた時や、作業を中断してはんだこてをこて台に置く場合は、はんだメッキ部にははんだを盛った状態で置いてください。はんだメッキ部の酸化に対する保護膜の役割をします。　多く盛る必要はありません。薄く盛る程度で充分です。

●作業を終了して電源を切る場合も、はんだメッキ部にははんだを盛った状態で電源を切って下さい。次回、電源を入れてから実際に使用するまでの間のこて先の酸化保護になります。

こて先のはんだメッキ部が黒くなって、はんだが濡れなくなった場合の対策

- こて先にはんだを塗りながら、こて先クリーナー（こて台のスポンジ）で拭う作業を繰り返して下さい。
- 少し使った状態の良く濡れていたこて先であれば、はんだメッキ面は、再度濡れを回復する場合もあります。それでも表面の黒色が取れない場合は、目の細かい紙ヤスリ、例えば#600、などで機械的に黒い固まりを取り除き、再度こて先に糸はんだを付けてください。

こて先クリーナーの洗浄と交換

- クリーナー（スポンジ）が、茶色や黒色等の色がついてきたら水洗いを行い、汚れを取ってください。
- 汚れが取れなくなったりしたら、新品と交換してください。

6 故障の時に

トラブルが起こったときは下記の手順でチェックしてください。

1. 電源が入らない。
   - コンセントが電源プラグから外れていませんか。
   - コンセントに適切な電気がきていますか。
   - ヒューズが切れていませんか。
2. こて先温度が上がらない
   - ヒーターが切れていませんか。

エラー表示	原　因	対　策
S.o.P.	センサーまたはコードが断線している	こて先もしくはこて部を新しい物と交換してください。尚、こて先交換時にもこの表示がでますが、とくに問題はありません。交換後パネルのいずれかのキーを押すと正常に戻ります。
E.r.0.	メモリー異常	パスワードやパラメーター等が出荷時の状態になっています。再度設定し直せば問題なく使用できますが、頻発するようでしたら当社サービスにご連絡ください。
H.t.A.	センサー異常、ヒーター異常	こて先のセンサー、あるいはヒーターに異常がありますので、こて先を交換してください。こて先交換後は電源を入れ直してください。
E.H.t.	センサー異常	こて先のセンサーに異常がありますので、こて先を交換してください。こて先交換後は電源を入れ直してください。

7 交換部品

交換用こて先 RX-85HRTシリーズ[150W] 対応こて部 : RX-85GAS

注）こて先とヒーターは一体になっているため、こて先のみ又はヒーターのみの交換はできません。

( )内スリムタイプ

RX-85HRT-5D

RX-85HRT-B

RX-85HRT-2BC

RX-85HRT-3D

RX-85HRT-3BC

RX-85HRT-5D

RX-85HRT-5BC

RX-85HRT-7D

RX-85HRT-7BC

RX-85HRT-6K

RX-85HSRT-B

RX-85HSRT-1.6D

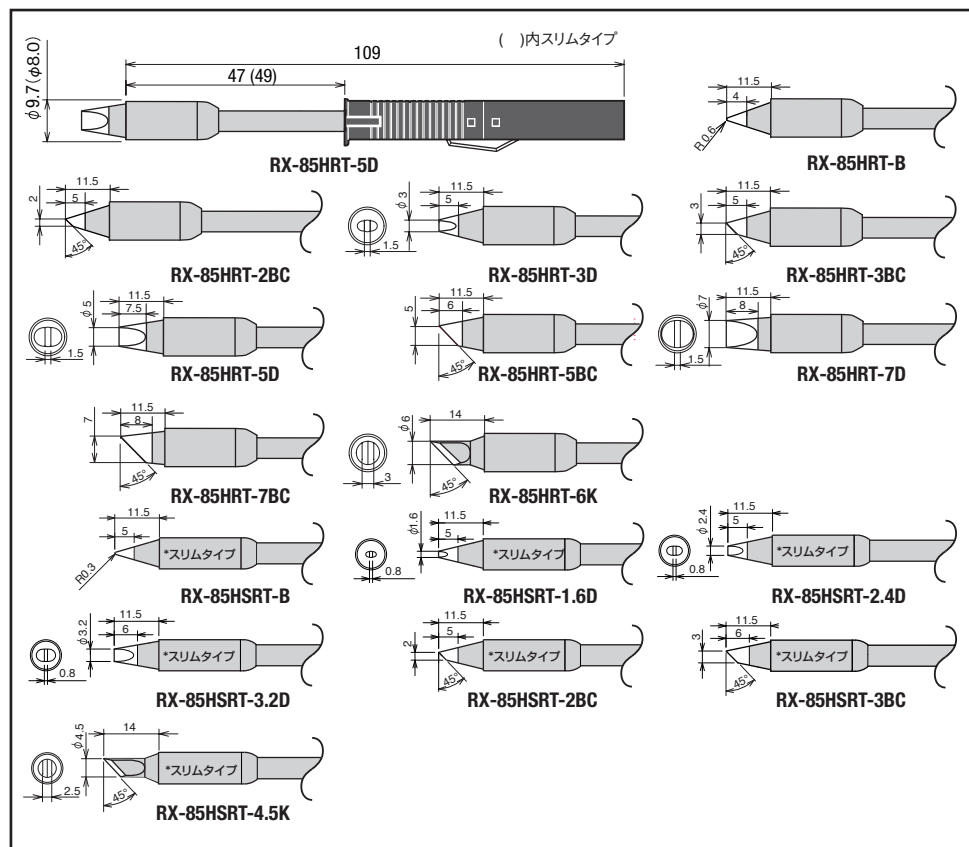
RX-85HSRT-2.4D

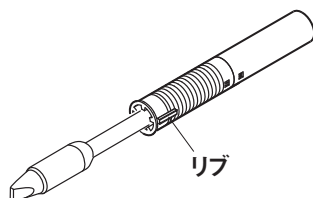
RX-85HSRT-3.2D

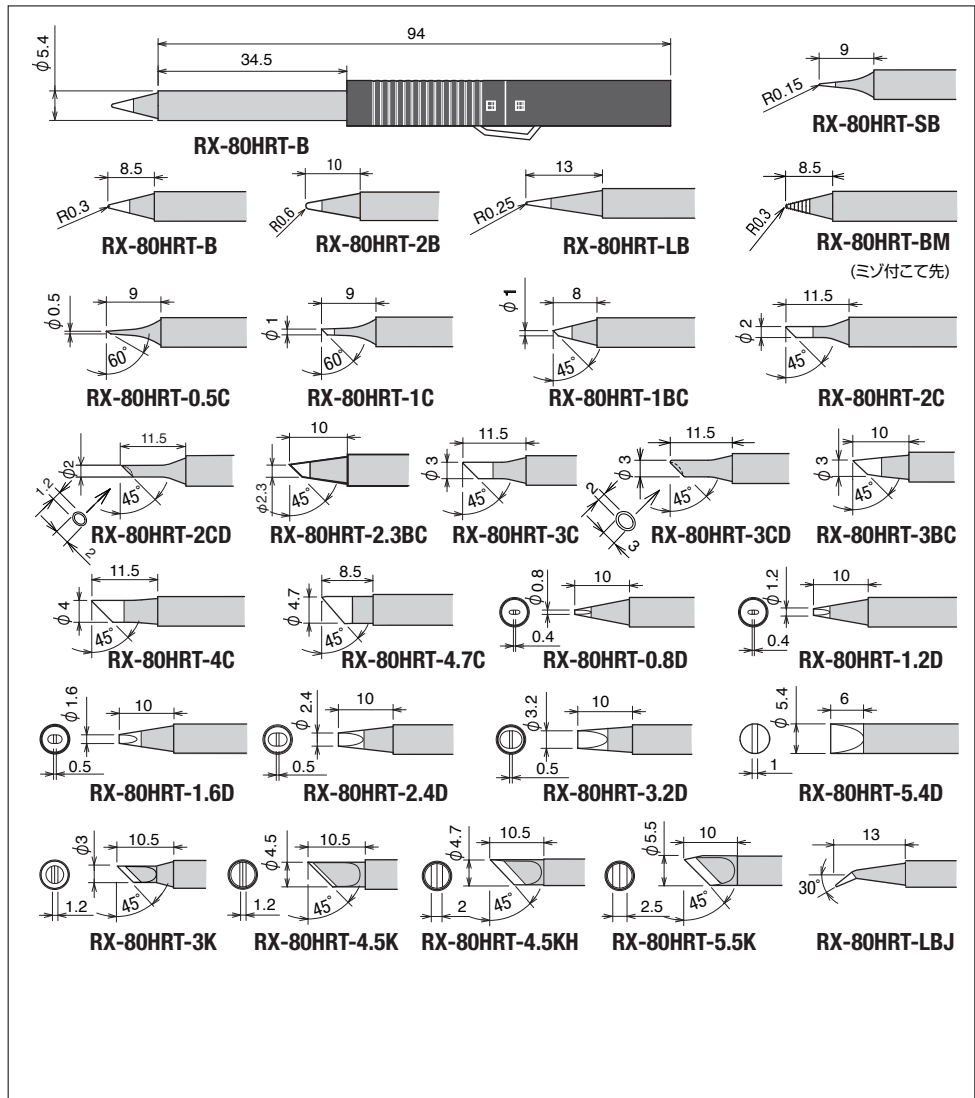
RX-85HSRT-2BC

RX-85HSRT-3BC

RX-85HSRT-4.5K

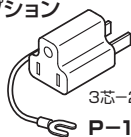
*スリムタイプ

注 意

交換用こて先RX-85HRTシリーズは、姉妹品のRX-802ASでは使用できません。誤って使用するのを防ぐため、RX-85HRTシリーズの樹脂部には誤挿入を防止するリブがついています。また、強引に使用するとRX-802AS内部のトランスが破損し、RX-802AS本体が使用できなくなります。

交換用こて先 RX-80HRTシリーズ[72W] 対応こて部 : **RX-85GAS/RX-80GAS**

注）こて先とヒーターは一体になっているため、こて先のみ又はヒーターのみの交換はできません。

RX-80HRT-2CD、RX-80HRT-3CDはアメリカ合衆国において販売及び使用できません。よってアメリカ合衆国への持ち出しはご遠慮ください。

8 部品リスト

交換部品のご用命は販売店またはお客様相談窓口までお問い合わせください。

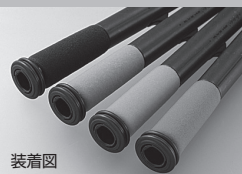
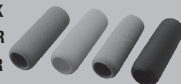
オプション

交換部品

NO.	部品名	型　番	備　考
1	RX-852ASこて部	RX-85GAS	こて部[1]用（150W） *こて先は付属しません
2	RX-802ASこて部	RX-80GAS	こて部[2]用（72W） *こて先は付属しません *こて部[1]にも接続可能です
4	こて台	ST-21	
3	こて台用スポンジ	ST-53SP	ST-21用替スポンジ
4	替クリーナー	ST-40BW	ST-21用替クリーナー

■グリップラバー（静電対策品）

全 **4** 色そろえておりますので、作業内容別の色分けや鉛フリーはんだ／共晶はんだ併用時の識別に便利です。

RX-852AS/802AS 用グリップラバー

（グレー）**RX-80RB**
（ブラック）**RX-80RB-BK**
（オレンジ）**RX-80RB-OR**
（グリーン）**RX-80RB-GR**

装着図

9 表示

名　称	TEMP. 表示	入力範囲	単位	初期値
設定温度(PT)		(SSt+50)～450	℃	250
こて先番号(tPn)	tPn	0～4, L1～L3	—	1
温度補正(cAL)	cAL	-50～50	℃	0
スリープ温度(SSt)	SSt	0～(Pt−50)	℃	200
スリープ開始時間(ct)	ct	0.00～999	Minute	5
スリープ感度(diF)	diF	0.0～20.0	℃	2.0
シャットダウン開始時間(SUT)	SUt	0～999	Minute	60
上限温度(H)	H	---, 3～100	℃	50
下限温度(L)	L	---, 3～100	℃	50
微分時間(td)	td	0～100	cyc	5
ブザー(BUZ)	bUZ	BIG/SML/OFF	—	BIG
温度表示(華氏・摂氏)	c-F	c/F	—	c